



拜啓 初夏以来之日旱

魃ニ暑氣殊の外酷

烈都下も同稼之由ニ及

處

所起居之四民情勝を

大勞及借豫を申上

置之由今四之象録

院録員選舉ニ就るを

可成目志者相一致し物録

としせらる 存心互先の最

下級ある各町村ニ於て協録

せしめ其結果と取纏め一

郡の協録を盡すもの

其上にて一郡各三名之





郡の協隊を盡す。其の上にて一郡各三名を豫選委員を選出する。其之を以て豫選隊を組織し去十月を以て初めて佳村を以て山口に協隊熱せしむる散會し。昨廿二日再び集會し西渡熱隊の末隊に第一区、江ノ藤と小生を第二区、松尾寛三を第三区、二位景暢を以て定段及び佳村を以下之平組の委員を以て一致の委員を全極部を以て決定存し唯秀島。



ニ以て定段及州法果在  
毎下之平和の爲め曰志者  
之一致の爲め其を至極都  
令其未だ存在唯秀島に  
對しては今も其を以て掛の  
有之實と氣を以て其を以て  
次カニして持て少生に於て交  
被上甚遺憾之事に及得  
其毎下之平和と曰志之一  
致と重なる点より申す  
家系之孩子に依るの外  
無之及間何事

閣下より乍憚り交する人  
市尉齋神成下交する  
類及古由類七方时下  
凡何申す及此段其増



被上甚遺憾之事之可得  
其多下之平和之日志之一  
致と重なる点より申す  
家系之孩子に依るの外  
無之及間何卒

閣下より在憚りある人  
歩慰諭 誠成下交を  
頼及古語頼て下  
凡何申す及此段等  
不悉

七月廿三日 時敏持具

大隈先生閣下